

☆上半期事業報告

22年度の目標である『特産品開発』、『農業活性化』に向けて、地域おこし研修会（特産品開発の勉強会）を行ったり、遊休農地の活用（SVG：されだにベジタブルガーデン）をしたりと、少しずつ取り組みを始めています。

また、地域外との交流や情報発信として、E4（大学生、高校生等）の受入れや住吉祭りへの踊りの参加（優勝）などを行いました。

単発的な取り組みに終わらず、どういう風に継続するのかが、今後の検討課題です。



SVG で子どもたちも交えた芋掘り大会を開催（10/3）。これからも、子どもたちが参加できる取組みをしていきたい

月 日	内 容
4/4	さくらまつり
4/10	農地・水・環境保全対策事業の見回り
4/17	E4（大学生等）受入れ
4/18	第3回総会
5/15	遊休農地の活用（以降、数回にわたり活動）
6/4	ホテル観賞会
6/5	榎峠花壇整備
6/13	ホテルの見回り
6/27	地域おこし研修会
6/29	ミニサロン
7/28,29	住吉祭りへの踊り参加
8/6	第2回地域おこし研修会
8/10	E4（大学生、高校生等）受入れ
8/21	納涼の夕べ
8/28	観月祭への出店
9/11	第3回地域おこし研修会
9/23	栗まつりへの出店
9/26	秋季大運動会

※役員会、部会も随時開催しています。

☆下半期事業計画（総会資料再掲）

下半期には、「きてみん祭」、「ふるさとまつり」という大きなイベントが控えています。

大きな事業は、もちろん大切ですが、「わんぱく塾の支援」や「佐礼谷十景の調査」など、日々の活動も重要であると考えています。

また、農地・水・環境保全活動の一環として、「河川の葦刈り」を行います。その際に、ボランティアとして大学生に来てもらう予定にしています。

今後、継続的かつ、循環的な交流※をする上で、きっかけづくりとして、期待をしています。



農地・水・環境保全活動 啓発タオル

時 期	内 容
10~11月	ミニサロン（料理講習）
11/21	されだにきてみん祭
12/4	河川の葦刈り
12/4	花壇整備
2/6	ふるさとまつり
随時	わんぱく塾の支援
	佐礼谷十景の調査・選定
	佐礼谷に関する絵本・紙芝居づくり
	ロードマップの作成（名所や旧跡の調査）
	ハザードマップの作成（旧鉱山の縦穴の位置の調査）
	遊休農地を活用した交流
	お礼 カルタ及びTシャツづくり

※循環的な交流

作付け→管理→収穫→調理・特産品開発→試食（例えば、田植え→草刈り→稲刈り→もちつき→試食等）といった循環型の取組み。お手伝いとして労力を提供してもらう代わりに、農業技術や体験の場などを提供する。地域内外の双方にメリットとなる取組み（また来て欲しい、また来たいと思えるような取組み）が重要。